

ノーザン・ケンタッキー大学図書館の 教育サービス

^a 山 本 貴 子
^b 大 城 善 盛
^c 漢 那 憲 治
^d 瀬戸口 誠

1. はじめに

大谷大学真宗総合研究所 2011 年度一般研究（個人研究）として、「アメリカの公共図書館における専門職制度の総合的研究：専門職と非専門職の枠組み」のテーマの下に、我々は 2011 年 9 月にケンタッキー州を訪問し、同州の公共図書館職員とその養成に関する実態調査を行った。そして、調査結果の 1 部を『真宗総合研究所研究紀要』29 号に掲載した¹⁾。

ケンタッキー州では、公共図書館に関する州法および「ケンタッキー州公共図書館基準」があり、図書館職員に関しては次のように記している²⁾。

1) 15,000 人以上の住民が奉仕対象になっている公共図書館には、館長は専門職資格証 (professional certificate) を有していること。

2) 15,000 人又はそれ以下の住民が奉仕対象になっている公共図書館では、館長は少なくとも準専門職資格証 (paraprofessional certificate) を有していること。

3) 副館長、BM ライブラリアン、地域館の館長、および課長は少なくとも準専門職資格証を有していること。

4) 図書館情報サービス (library information service) を提供する他の専任の図書館職員は図書館経験資格証 (library experience certificate) を有していること。

ケンタッキー州が規定する専門職資格証は, (a) American Library Association (アメリカ図書館協会: 以下, ALA) 認定の図書館情報学部から修士号を取得した人, (b) ALA の認定を受けていない図書館学部から修士号を取得した人, もしくは (c) 大学院レベルでの 15 単位の図書館学の履修を含む, 他の分野から修士号を取得した人, に与えられる。また, 準専門職資格証は, (a) 少なくとも 12 単位の図書館学の履修を含む, 大学での 60 単位の履修と 2 カ年の図書館経験のある人, (b) 高校の卒業 (又は GED=General Educational Development の合格) に加えて, 少なくとも 15 単位の図書館学の履修と 5 カ年の図書館経験 (library work experience) のある人, (c) 少なくとも 12 単位の図書館学の履修を含む, 学士号を取得した人, もしくは (d) 少なくとも 6 単位の図書館学の履修を含む, 他の分野で修士号を取得した人, に与えられる³⁾。

アメリカ合衆国 (以下, アメリカ) の専門職ライブラリアン (professional librarian) は ALA の認定を受けた図書館情報学部 (学科, 課程) から修士号 (Master of Library and Information Science: 以下, MLIS) を取得した人, とわが国では一般的に理解されている。しかし, 上記のように, ケンタッキー州では専門職ライブラリアンの資格は必ずしも厳しくなく, 極めて緩やかに規定されていることが, 訪問調査の結果明らかとなった。その上, 15,000 人以下の住民が奉仕対象になっている公共図書館では, 館長は専門職ライブラリアンでなく, 準専門職資格証を有している人でもよいことも分かった。このような, 専門職ライブラリアンの規定がゆるやかである理由をケンタッキー州立図書館・文書館局 (Kentucky Department of Libraries and Archives) の上層部 (館長, 図書館サービス部長, 地域図書館部長) に尋ねたところ, 同州では図書館サービスが進んでいる地域と遅れている地域があり, ゆるやかな理由は遅れている地域を向上させるためである, という返答をもらった。

そのようなケンタッキー州の状況は, 同州の公共図書館サービスが他の州と比較して遅れていると見なされるかもしれないが, 必ずしもそうでもない

ことが分かった。『ケンタッキー州の公共図書館統計：2009-2010』(*Statistical Report of Kentucky Public Libraries, Fiscal Year 2009-2010*)を見ると、同州の公共図書館サービスは全米的にも優れている方に位置付けられている⁴⁾。わが国では、ALAによる専門職ライブラリアンのあるべき姿、もしくは運動目標の方に注意が注がれ、専門職ライブラリアンの配置も含めてのアメリカの公共図書館の状況に関して、現状とその解釈に齟齬がみられるように思われる。

ケンタッキー州では、15,000人以下の住民が奉仕対象になっている公共図書館や図書館サービスが遅れている地域を対象にしている準専門職資格証は、上記の要件を見ると分かる通り、短期大学や4年制大学の学部レベルの図書館情報学プログラムで取得可能である。2011年の訪問調査の際に、我々は準専門職資格証を授与する短期大学の例としてブルーグラス・コミュニティ・テクニカル大学(Bluegrass Community and Technical College)、4年制大学の例としてノーザン・ケンタッキー大学(Northern Kentucky University)を調査した。

その結果、上記教育機関のうち、ノーザン・ケンタッキー大学では実質図書館がその準専門職資格証のプログラムを提供しているだけでなく、図書館が教育的機能も果たしていることが分かった。それらの教育的機能は、同大学図書館のWebページ上で(a) Library Instruction, (b) Library Career Development, (c) Bachelor of Science Library Informatics, の項目名を与えられていることで理解できる。本稿では、ケンタッキー州の図書館員制度を支える一つとしての、大学図書館における教育サービスに着目し、準専門職資格証プログラムも含めた、ノーザン・ケンタッキー大学図書館の教育サービスを概観する。

論の進め方として、次章でノーザン・ケンタッキー大学と大学図書館を概観し、3章で図書館教育(Library Instruction)、4章で図書館キャリア開発(Library Career Development)プログラム、5章でライブラリー・インフォマティックス専攻理学士(Bachelor of Science Library Informatics)プログラムを概観する。

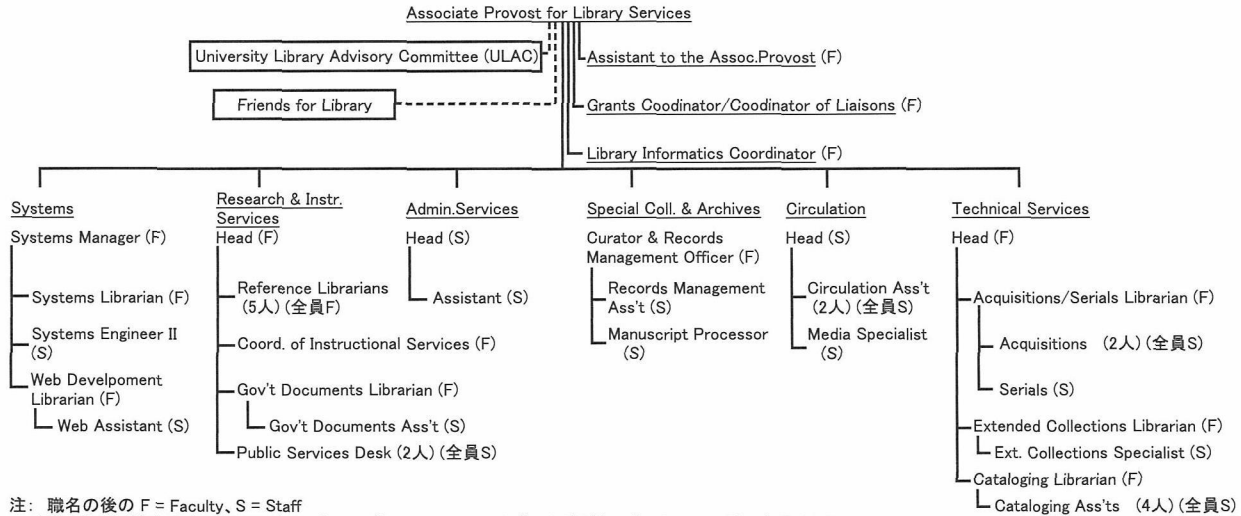
2. ノーザン・ケンタッキー大学と大学図書館の概要

ノーザン・ケンタッキー大学は、アメリカでも大都市の部類に入るシンシナティ市 (Cincinnati) の郊外に位置するハイランドハイツ市 (Highland Heights) にノーザン・ケンタッキー州立大学 (Northern Kentucky State College) の名称で1968年に創立された。そして、1973年に現在の名称に変更された。ケンタッキー州の8つの州立大学 (State University) の中で最も新しい大学である。2011年現在、約15,000人の学生と約2,000人の教職員を擁するアメリカでは中規模の大学である。学位等に関しては、6種の準学士号、70種の学士号、20種の修士号、3種の博士号を授与し、また30以上の大学院修了証も授与している⁵⁾。

大学図書館は、W. フランク・スティーリー図書館 (W. Frank Steely Library) と称する中央図書館とチェイス法律図書館 (Chase Law Library) の2図書館で構成されている。中央図書館は約30万冊の図書、約2万冊の製本雑誌、約140万点のマイクロ資料を所蔵している。また、スティーリー・メディア・コレクション (Steely Media Collection) にはドキュメンタリー、音楽、audio bookを含む多数のDVDが備えられている。チェイス法律図書館は約30万冊の図書と約6万冊の逐次刊行物を所蔵している⁶⁾。

中央図書館であるW. フランク・スティーリー図書館の職員は、2011年現在、ファカルティ・ステータス (faculty status) を有する20人の専門職ライブラリアンと21人の事務系職員で構成されている。2011年現在の人事組織は図1の通りである⁷⁾。

館長を除く19人の専門職ライブラリアンは、図1に示されている職務の他に、リエゾン (liaison) の職務も負わされている。ここで言うリエゾンとは、大学の各学科と図書館とのコミュニケーションを図る職のことで、リエゾン・ライブラリアンは割り当てられた学科が関連するコレクションの構築、サービス、資料費等のことで学科との調整役を務める。各ライブラリアンは、英語、心理学、歴史・地理学、生物学、化学、数学・統計学、健康



注: 職名の後の F = Faculty, S = Staff
 人数の記述がある職名については、現在その職に当たっている人数。記述がないものについては、すべて1人。

図1 Steely Library 組織表

学, コンピュータ科学, 経営学, 等少なくとも1つ以上の学科のリエゾン・ライブラリアンに割り当てられている⁸⁾。このリエゾン・ライブラリアン制度は, アメリカのライブラリアンが大学院で養成されているから可能であり, 専門職ライブラリアンの専門性を証明する証拠の1つにもなっている。また, アメリカの大学図書館員は図書館情報学以外の主題領域の修士号も要求されることが多いが, リエゾン・ライブラリアン制度を見ると, その理由がよく理解できる。

3. 図書館教育 (Library Instruction)

ノーザン・ケンタッキー大学図書館では教育サービスの1つとして「図書館教育」(Library Instruction)と銘打つサービスがあり, その項目の下に, (a)「対面図書館教育」(Face to Face Library Instruction), (b)「あなたのクラスのための情報リテラシー」(Information Literacy for Your Class), (c)「私のクラスのためのブラックボード・ライブラリアン」(Blackboard Librarian for My Class), (d)「教育のための特注の図書館資料」(Customized Instruction Materials), の4種のサービスを挙げている。以下にその4種を概観する。

3.1 「対面図書館教育」(Face to Face Library Instruction)

ノーザン・ケンタッキー大学図書館ではあらゆる主題領域, あらゆるレベル(新入生から大学院まで)のクラスのための図書館教育が準備されている。表1を見ると分かる通り, ノーザン・ケンタッキー大学図書館には研究・教育サービス(Research & Instructional Services)部署があり, 8人の専門職ライブラリアンが配置されている。その人たちが「対面図書館教育」の主な担当者である。学期中は1日平均5回の対面図書館教育の時間(1回1時間)が設定されていて, 教員が自分の都合のよい時間を選ぶことになっている。その対面図書館教育は, わが国でよく見られる一般的な図書館利用教育ではなく, 各主題, 各レベルに合わせた図書館教育である⁹⁾。そのためには, もちろん教員とライブラリアンの事前打ち合わせが必要となる。ICTが進展するにつ

れて、図書館情報学界ではレファレンス不要論の論文が出て来たりしているが、ノーザン・ケンタッキー大学図書館は研究・教育部署を設けて20人のうち8人の専門職ライブラリアン（そのうち5人はレファレンス・ライブラリアン）を配置し、図書館教育という積極的な図書館サービスを展開している。それは、今後の新しい形のレファレンス・サービスのようにも思われる。

3.2 「あなたのクラスのための情報リテラシー」(Information Literacy for Your Class)

ノーザン・ケンタッキー大学図書館では、大学教育における情報リテラシーの重要性を認識し、教員のために「あなたのクラスのための情報リテラシー」(Information Literacy for Your Class)という項目をWeb上に設け、そこをクリックすると「あなたのクラスにおける情報リテラシー」(Information Literacy in Your Classroom)に移る。そのページは、教員が情報リテラシーを科目に統合する手段と方法を提供するために作成されている。また、ライブラリアンによって行われる図書館教育を補強するものでもある¹⁰⁾。

そのページは、次の6領域から成っている。

1. 情報リテラシー基準の説明と、学生にとってその基準の意味。
2. 特定の研究プロセスとその概念の説明。
3. クラスで効果的に教えられるよう、各概念の具体例。
4. 学生のレベルから見た、各研究プロセスの具体例。
5. 授業へ統合できる活動やワークシート。
6. 図書館チュートリアルへのリンク。

上記のことを具体的な例で示すと、そのページには、大学研究図書館協会(Association of College and Research Libraries)が2000年に作成した「高等教育のための情報リテラシー能力基準」(Information Literacy Competency Standards for Higher Education)が解説付きで掲載されている。(a) start research, (b) find information, (c) Evaluate information, (d) Synthesize information, (e)

Ethically use information の5つの概念の説明が付いており, 例えば (a) start research をクリックすると, 以下のような情報が提供される¹¹⁾。(1部のみ転載)

At this first stage of research, a student will need to:

- ・ Write out his or her research question

Want a librarian to teach this and other competencies to your students? Visit our Library Instruction page!

Concept Mapping

A concept map is a diagram showing relationships between ideas. It is useful in research because it labels synonyms (useful when searching) and determining what information is needed and where it might be located.

Example: If a student is writing about immigration, listing immigration law on a concept map indicates that he or she may need to examine a government document.

Creating Concept Maps

Web apps: These free online applications allow students to make concept maps:

- ・ App directory: <http://www.shambles.net/pages/school/mindmaps/>
- ・ Bubble: <http://bubbl.us/>
- ・ Freemind: http://freemind.sourceforge.net/wiki/index.php/Main_Page

Classroom Activities

Below are activities you can use in your classroom to show your students how to pick and define topics.

- ・ Learning Styles Inventory (link to external web page)
- ・ Student Research Self-Analysis
- ・ Finding a Topic

- ・ Research Plan

Library Tutorials

These tutorials are on the library web page and can be accessed at any time.

How to Find a Research Topic

- ・ Choose a Research Topic & Establish a Research Plan

なお, (b) find information, (c) Evaluate information, (d) Synthesize information, (e) Ethically use information についても, 教員のために同様な形で情報が提供されている。

3.3 「私のクラスのためのブラックボード・ライブラリアン」と「特注の図書館資料 (Customized Instruction Materials)」

ブラックボード・ライブラリアン (Blackboard Librarian) とは, フォーマルな情報リテラシー教育とレファレンス・サービスの間のギャップを埋めるために, インターネット上のブラックボード・ディスカッション・ボードで待機しているライブラリアンのことである。クラス (科目) でライブラリアンに情報リテラシー教育を行ってもらった教員は, そのライブラリアンを自分のクラスのブラックボード・ライブラリアンに指名することができる。そのような指名によって, 学生はブラックボード・ディスカッション・ボードを利用して情報リテラシーや研究プロセスに関してブラックボード・ライブラリアンに自由に質問したり, 議論したりすることができる。学生はもちろんすべてのライブラリアンに自由に質問することが可能であるが, ある特定の科目や主題に関してすべてのライブラリアンが同等の知識や能力を持っている訳ではなく, 情報リテラシー教育を行った特定のライブラリアンが最適であるという考え方が, ブラックボード・ライブラリアン制度を設けている理由である¹²⁾。

「教育のための特注の図書館資料」とは, ブラックボード・ライブラリア

ンを指名した科目のために、図書館が様々な資料や資源を準備する制度である¹³⁾。

4. 図書館キャリア開発 (Library Career Development) プログラム

ノーザン・ケンタッキー大学図書館は、図書館情報学関連領域の職場で働く人、および今後働きたい人のために、同期や非同期のオンライン科目を提供している。それらオンライン科目は、同図書館の専門職ライブラリアンによって開発されたものである。以下の科目が具体例である¹⁴⁾。

- ・ Institute on Solo Librarianship
- ・ Library Foundations
- ・ Reference and Information Services
- ・ Collection Management
- ・ Library Technology
- ・ Access Services
- ・ Developing Enhanced Subject Access Tools
- ・ Cataloging & Classification
- ・ Supervision & Management in Libraries
- ・ Communication & Teamwork in Libraries
- ・ Adult Readers' Services
- ・ Youth Services

上記の科目は、国内国外を問わず、誰でも受講することができるが、特にケンタッキー州の公共図書館で働く職員を視野に入れて開発されている。同州の公共図書館で図書館情報サービスを行う職員は、州の規定する専門職資格証、準専門職資格証、図書館経験資格証のいずれかを有していなければならない¹⁵⁾。ノーザン・ケンタッキー大学図書館における図書館キャリア開発は、その更新を主眼にしている。

また、アメリカの図書館界では、図書館サポートスタッフ (library support

staff) の教育や資格証の重要性が認識されて、ALA-APA (ALA Allied Professional Association) が 2010 年から図書館サポートスタッフ資格証 (library support staff certificate) プログラムを開始している。その資格証を取得するためには、次のように履修しなければならない¹⁶⁾。

必須科目

- ・ Foundations of Library Services
- ・ Communication and Teamwork
- ・ Technology

選択必須科目 (3 科目選択)

- ・ Access Services
- ・ Adult Readers' Advisory Services
- ・ Cataloging and Classification
- ・ Collection Management
- ・ Reference and Information Services
- ・ Supervision and Management
- ・ Youth Services

ノーザン・ケンタッキー大学図書館は、その図書館サポートスタッフ資格証プログラムの提供機関の 1 つになっていて、同大学図書館の開講している Library Foundations, Communication & Teamwork in Libraries, Library Technology, Access Services, Adult Readers' Services, Cataloging & Classification, Collection Management, Reference and Information Services, Supervision & Management in Libraries, Youth Services は、図書館サポートスタッフ資格証プログラムの科目としても認定されている¹⁷⁾。

5. ライブラリー・インフォマティクス専攻理学士
(Bachelor of Science Library Informatics) プログラム

アメリカ連邦政府による図書館支援プログラムとして、2005 年に “Laura Bush 21st Century Librarian Program” 法が制定された。その目的は 21 世紀の

図書館サービスを発展させることであり, 図書館情報学研究者への研究支援, 専門職ライブラリアンや図書館サポートスタッフの継続教育, 図書館情報学の学生への経済援助, と多岐に渡っている¹⁸⁾。

ケンタッキー州とウェストバージニア州はアパラチア山脈周辺に住む比較的貧しく, 図書館サービスにも恵まれていない市民を抱えている。そのため, 両州は“Laura Bush 21st Century Librarian Program”を利用してのそれら地域住民への図書館サービスの向上を計画した。それがノーザン・ケンタッキー大学図書館におけるライブラリー・インフォマティクス専攻理学士(Bachelor of Science Library Informatics)プログラム設置の契機となった。

ケンタッキー州は“Bridging the Gap: Supplying the Next Generation of Librarians to Underserved Counties of Rural Kentucky”, ウェストバージニア州は“Bridging the Gap: Supplying the Next Generation of Librarians to Appalachian West Virginia”のプロジェクトを企画し, “Laura Bush 21st Century Librarian Program”の助成を得ることに成功した¹⁹⁾。両プロジェクトとも両州の州立図書館, ノーザン・ケンタッキー大学, マウントウェスト・コミュニティ・テクニカル大学(Mountwest Community & Technical College)の4者による共同プロジェクトで, 公共図書館で働くために必要となる準専門職資格証の取得を支援することを目的としている。助成資格を有する学生はノーザン・ケンタッキー大学もしくはマウントウェスト・コミュニティ・テクニカル大学の学生でなければならない。ノーザン・ケンタッキー大学図書館の広報誌:*NKU Annotations* (Vol. 9, No. 1, Spring 2012)は, 2011年12月にライブラリー・インフォマティクス専攻理学士の最初の卒業生が出たことを誇らしげに報じている²⁰⁾。

ノーザン・ケンタッキー大学では準専門職資格証を授与するためのプログラムとして, 情報学部(College of Informatics)の中にビジネス・インフォマティクス学科(Dept. of Business Informatics)があるが, その中の専攻として2009年にライブラリー・インフォマティクス専攻理学士(Bachelor of Science Library Informatics)プログラムを設置した。そのプログラムはビジネ

ス・インフォマティクス学科と大学図書館の協議, もしくは大学図書館がビジネス・インフォマティクス学科を説得した結果, 設置されたものである²¹⁾。

ライブラリー・インフォマティクス専攻の理学士プログラムは, 100% 大学図書館が責任を負う, 100%オンラインのプログラムである。そのプログラムのために, 大学図書館は Library Informatics Coordinator の肩書を持つ専任の専門職ライブラリアンを雇用し, ビジネス・インフォマティクス学科との合同任命 (joint appointment) としている²²⁾。

ライブラリー・インフォマティクス専攻理学士の学位を取得するためには, 学生は卒業までに 120 単位の科目を履修しなければならないが, 2011 年現在, 以下のような科目が必修, および選択必修となっている²³⁾。

必修科目

Introduction to Databases (3)

Information in Our Society (3)

Current Trends in Information Studies (3)

Management of Information Systems (3)

Introduction to Meta Information Systems (3)

Digital Searching Interfaces (3)

Critical Reading (3)

Advanced Information Literacy Skills (3)

Practicum (3)

ライブラリー・インフォマティクス領域の選択必修科目 (3科目選択)

Ethics of Information Technology (3)

Law of Mass Communication (3)

Ethics of Media Ethics (3)

Government Information (3)

Information Literacy Curricular Design (3)

Special Topics (3)

Advanced Analysis and Design (3)

Knowledge Management (3)

Database Management Systems (3)

以上に加えて、インフォメーション・テクノロジー/コミュニケーション領域から3科目、心理学/社会学領域から2科目、および組織研究調査研究法領域から3科目、選択履修することになっている。

6. おわりに

我々は2011年9月に、「アメリカの公共図書館における専門職制度の総合的研究：専門職と非専門職の枠組み」のテーマの下に、ケンタッキー州の公共図書館職員とその養成に関する調査を行った。同州では、図書館情報サービスを行うすべての公共図書館職員に専門職資格証、準専門職資格証、図書館経験証のいずれかを要求することを知り、準専門職資格証の職員を養成する高等教育機関の1つとして、ノーザン・ケンタッキー大学を訪問調査した。

その準専門職資格証の養成はノーザン・ケンタッキー大学では大学図書館が行っていること、さらに同大学図書館は他大学図書館では見られない程の教育的なサービスを行っていることを知り、この論稿でそれらを概観し紹介した。同大学図書館には教育的なサービスとして、(1) 図書館教育、(2) 図書館キャリア開発プログラム、(3) ライブラリー・インフォマティクス専攻理学士プログラム、の3種があった。図書館教育には、(a) 対面図書館教育、(b) あなたのクラスのための情報リテラシー、(c) 私のクラスのためのブラックボード・ライブラリアン (d) 教育のための特注の図書館資料、の4種があった。それらのサービスは他大学図書館でも見られる教育的なサービスであるが、しかし、対面図書館教育用に設定されている時間は一般的でなく、極めて特殊であった。それは大学図書館(ライブラリアン)が教育的機能を有していることの明瞭な証拠になっており、また、ICT時代になった現代

および今後のレファレンス・サービスの形でもあるように思われた。

図書館キャリア開発プログラムは、同大学図書館で働いている専門職ライブラリアンや図書館サポートスタッフのための継続教育プログラムと推測していたが、それだけでなく、全米的に展開している、図書館で働いている、もしくは今後働きたい人のための図書館情報学教育のプログラムであることが、訪問調査の結果分かった。その教育プログラムは、ALA-APAの図書館サポートスタッフ資格証プログラムとしても認定されている。それは、ICT時代になった現代、すべての科目をオンラインで開講することにより可能になった訳であるが、それはまた、ノーザン・ケンタッキー大学図書館の専門職ライブラリアンがそれだけの能力を有しているから可能になったということである。現代は教育事業をビジネスとして位置付け、教育を売る事業体も出現しているが、ノーザン・ケンタッキー大学では大学図書館が「教育を売る事業体」になっているような印象を受けた。しかし、図書館キャリア開発プログラムは、ライブラリー・インフォマティクス専攻理学士プログラムと同様、ケンタッキー州の「公共図書館サービスの向上」が基本目標になっている。

ノーザン・ケンタッキー大学図書館はライブラリー・インフォマティクス専攻理学士プログラムも設けている。図書館という性格上、現代では学位を授与することができず、同大学のビジネス・インフォマティクス学科の母屋を貸してもらって設置しているが、そのような教育プログラム例は全米でもあまり見られない。ライブラリー・インフォマティクス専攻理学士課程の設置に関しては、いくつかの要因が働いていた。その1つは、ケンタッキー州の公共図書館サービスの向上を真剣に考えている州立図書館（特に館長）と同様な考えを持つノーザン・ケンタッキー大学図書館（特に館長）の存在である。我々が調査をした際、両者は同州の公共図書館は資格を有する職員が不足していることを大いに懸念していた。そのような状況下で、連邦政府の図書館支援プログラム“Laura Bush 21st Century Librarian Program”法が制定された。その法制定が第2の要因である。さっそく、両者はアパラチ

ア山脈周辺の図書館サービスに恵まれていない市民を共有するウェストバージニア州と組んで, “Bridging the Gap: Supplying the Next Gen of Librarians to Underserved Counties of Rural Kentucky” (ケンタッキー州) と “Bridging the Gap: Supplying the Next Generation of Librarians to Appalachian West Virginia” (ウェストバージニア州) のプロジェクトを企画し, “Laura Bush 21st Century Librarian Program” の助成を得ることに成功した。第3の要因は, 両者の説得に応じたノーザン・ケンタッキー大学当局, 特にビジネス・インフォマティクス学科の教授陣であろう。大学図書館に実質的な学位授与資格を与える大学はアメリカでも他にあまり見当たらず, ビジネス・インフォマティクス学科の決断(同意)は勇気ある行動であり, また, その結果(設置)は大学図書館(ライブラリアン)が学位を授与できる程度の教育的能力を持っていることの証明にもなっている。

現在, わが国の大学図書館界でも情報リテラシー教育も含めてその教育的機能がよく論じられるが, アメリカの例からわが国の大学図書館が参考にするべきことは, アメリカの大学図書館のライブラリアンは大学院レベルでの養成教育を受けていて, 大学当局や教授陣からの信頼も厚く, 実質的な教育機能を果たしているということであろう。

注及び引用文献

- 1) 山本貴子「アメリカの公共図書館における専門職制度の総合的研究：専門職と非専門職の枠組み」『真宗総合研究所研究紀要』29号
- 2) Kentucky department of Libraries and Archives, *Certification Program for Kentucky Public Libraries*. <http://www.kdla.ky.gov/libsupport/certification.htm> [2012-5-7]
- 3) Kentucky department of Libraries and Archives, *The Certification Manual*. <http://www.kdla.ky.gov/libsupport/certification/manual.pdf> [2012-5-7]
- 4) Kentucky Department for Libraries and Archives. *Statistical Report of Kentucky Public Libraries, Fiscal Year 2009-2010*. <http://kdla.ky.gov/librarians/plssd/Documents/KDLA0910.pdf> [2012-5-7]
- 5) Northern Kentucky University, *Academics*. <http://www.nku.edu/academics/index.php>. [2012-5-8]
- 6) Northern Kentucky University, *Libraries*. <http://www.nku.edu/academics/libraries/index.php>. [2012-5-8]

- 7) 同大学図書館を2011年に訪問調査した際に入手した人事組織図に拠る。なお、チェイス法律図書館は組織的に別であり、その図書館ではファカルティ・ステータスを有する7人の専門職ライブラリアンと10人の事務系職員が勤務している。参照: Northern Kentucky University Salmon P. Chase College of Law, Chase Law Library Directory. <http://chaselaw.nku.edu/library/directory.php>. [2012-5-10]
- 8) Northern Kentucky University W. Frank Steely Library, *Library Liaisons*. http://library.nku.edu/faculty_and_staff/liaison.php. [2012-5-8]
- 9) Northern Kentucky University W. Frank Steely Library, *Face to Face Library Instruction*. http://library.nku.edu/faculty_and_staff/instruction/class_request.php. [2012-5-8]
- 10) Northern Kentucky University W. Frank Steely Library, *Information Literacy for Your Class*. http://library.nku.edu/faculty_and_staff/information_literacy/for_your_classroom/. [2012-5-9]
- 11) Northern Kentucky University W. Frank Steely Library, *Start Research*. http://library.nku.edu/faculty_and_staff/information_literacy/for_your_classroom/start_research.php. [2012-5-9]
- 12) Northern Kentucky University W. Frank Steely Library, *More information about Bb Librarians*. http://library.nku.edu/faculty_and_staff/instruction/more_information.php. [2012-5-8]
- 13) Northern Kentucky University W. Frank Steely Library, *Customized Instruction Materials*. http://library.nku.edu/faculty_and_staff/instruction/customized_instruction_materials/. [2012-5-8]
- 14) Northern Kentucky University W. Frank Steely Library, *Library Career Development* http://library.nku.edu/professional_development/index.php. [2012-5-10]; ALA-APA (ALA Allied Professional Association), *Library Support Staff Certificate: Approved Courses*. <http://ala-apa.org/lssc/approved-courses/>. [2012-5-10]
- 15) 詳細に関しては、注1)の文献を参照。
- 16) 詳細に関しては、次の文献を参照。山本 貴子, 大城 善盛, 瀬戸口 誠, 漢那 憲治「アメリカにおける図書館サポートスタッフの養成」『大谷大学研究年報』第63集 2011, 3, p. 109-152.
- 17) ALA-APA (ALA Allied Professional Association), op. cit.
- 18) National First Ladies' Library, *First Lady Biography: Laura Bush*. <http://www.firstladies.org/biographies/firstladies.aspx?biography=44>. [2012-5-11]; Institute of Museum and Library Services, *Laura Bush 21st Century Librarian Program Grant Applicants*. <http://www.imls.gov/applicants/detail.aspx?GrantId=9>. [2012-5-11]
- 19) Northern Kentucky University, *Federal Grant Will Help NKU Assist Rural Communities in Educating Library Staff*. [shttp://rgc.nku.edu/ext/index.php/home/1-research-grants-and-contracts/26-federal-grant-will-help-nku-assist-rural-communities-in-educating-library-staffs](http://rgc.nku.edu/ext/index.php/home/1-research-grants-and-contracts/26-federal-grant-will-help-nku-assist-rural-communities-in-educating-library-staffs). [2012-5-11]; West Virginia Librarians, *WV Librarians: About Us*. <http://>

wvlibrarians.org/?q=page/about-us) [2012-5-11]

- 20) Northern Kentucky University, *NKU Annotations*. Vol. 9, No. 1, Spring 2012. < <http://friendsofsteely.nku.edu/annotations/annotations9-1.pdf> > [2012-5-11]
- 21) その情報に関しては, 同大学図書館を 2011 年に訪問調査した際に入手した。
- 22) Ibid.
- 23) Northern Kentucky University, *Undergraduate Programs: Bachelor of Science Library Informatics: Courses*. <http://nkuonline.nku.edu/undergraduate/programs/bslibraryinformatics/courses.html> > [2012-5-11]

^a (本学准教授 図書館情報学)

^b (花園大学非常勤講師 図書館情報学)

^c (龍谷大学教授 図書館情報学)

^d (梅花女子大学准教授 図書館情報学)

〈キーワード〉 図書館教育, 図書館キャリア開発プログラム,
ライブラリアン